

原爆犠牲者追悼ミサ 共同祈願（案）

（前文）

愛である神が、戦争という人類の愚かな行為に憐れみの目を注ぎ、犠牲となった多くの方々に、永遠の安息を与えてくださるよう祈りましょう。

（一）平和のつくり主である神よ、平和を願う教会の祈りを聞き入れて下さい。キリストを通して受けた救いの福音を人々に告げ知らせることができますように。

（二）慈しみ深い神よ、世界平和の実現に努力している指導者のために祈ります。自国の利益にとらわれず、他者を押しつけるような態度を捨て、お互いに支えあって生きて行く道を一緒に求めることができますように。

（三）慰めの与え主である神よ、病気に倒れ苦しむ人々のために祈ります。病と闘う人々が献げる犠牲を、憐れみを持って受け入れ、健康の回復と病と闘う勇気を与えてくださいますように。

（四）教皇 聖ヨハネパウロ二世が示された「戦争は人間の仕業です」という言葉を思い起こして祈ります。私たちが原爆の悲惨さを語り継ぎ、心からの祈りを捧げて平和の実現のために働くことができますように。

（五）長崎の被爆者のために祈ります。長崎に原爆が投下されて〇〇年がたちました。神様の御母であり、いつも聖霊とイエス様と共に、私達のもとにおられるマリア様、戦争や迫害のない世界を実現する為に、力を合わせる事ができますように。

（後文）

全能ぜんのうの神よ、今いまここに捧げた私わたしたちの祈りが、み心みこころにかなうものとなり、戦争せんそうや紛争ふんそうにおびえ苦しくるんでいる人々の支えひとびととなりますように。
わたしたちの主しゅイエス・キリストによって。

平和に関する 共同祈願（案）

- * 被爆後 75 年を迎え、被爆マリア様と共に平和のために祈ります。世界の人々が、民族や文化の違いをのりこえ、互いに理解し合い、それぞれを尊重し、神の望まれる平和を築いていくことができますように。
- * 戦後 75 年を経過し、戦争経験者が年々減少していく中で、戦争の恐ろしさや残酷さを次の世代に伝えていくことの大切さと、平和の尊さを一人ひとりが心に留めて生きていくことができますように。
- * 一人ひとりが神からいただいたお恵みを大切に、平和な世界を築くため お互いに助け合い奉仕していくことができますように。
- * 平和旬間に当たり祈ります。私たちが平和について学び、そして祈り、さらに平和を求めて行動することができますように。
- * 原爆の灼熱の火に包まれこの世を去ったみ魂よ、キリストの前に跪（ひざまず）き世界の平和を祈る私たちを見守りくださいますように。
- * 原爆の日にあたり、すべての犠牲者に心をとめ祈ります。戦争の過ちを繰り返すことなく、深い信仰をもって真の平和が訪れますように。
- * 被爆 75 年を迎え、私たち一人ひとりが平和を願い、平和の証し人になりますよう、聖母マリアの取り次ぎによって祈りましょう。
- * 世界平和のために祈られます。教皇様の平和への熱意とそのお働きを祝福し、私たち一人一人が平和の道具となれますように。
- * 75 回目の原爆記念日を迎え、平和への誓いを新たに祈ります。国の指導者や軍備に携わる人たちが、権力や武力による平和の主張ではなく、人権の尊重、

貧困や環境問題、福祉や平和教育、暮らしの改善から来る平和を実現する者となりますように。また私たち自身も、戦争の愚かさと核の脅威に無関心にならず、これからも平和の担い手となる努力を続けて行くことができますように。

* 子育てをしている母親として祈ります。若年層による犯罪が多発し、人の命の尊さが軽んじられている現代社会において、神様の愛に生かされている私たち一人一人が、子供たちに愛をもって接することを通して、人を愛する事の大切さと、命の尊さを教えていくことができますように。

* 神様、今、いろんな所で人や国同士が争っています。イエス様が望まれる戦いのない平和な世界を造るために、僕たち（私たち）がイジメやケンカをなくし、誰とでも仲良くすることができますように。

* 被爆地長崎に生きる青年として祈ります。〇〇年前の悲惨な戦争と原爆の体験者が少なくなってきた長崎で、私たち青年一人一人が、率先して互いに相手を思いやる優しい心を持ち、二度と悲惨な出来事が起こらない平和な世界を築くための力となることができますように。

* 75回目の原爆記念日を迎え、平和への誓いを新たに祈ります。

国の指導者や軍備に携わる人たちが、権力や武力による平和の主張ではなく、人権の尊重、貧困や環境問題、福祉や平和教育、暮らしの改善から来る平和を実現する者となりますように。また私たち自身も、戦争の愚かさと核の脅威に無関心にならず、これからも平和の担い手となる努力を続けて行くことができますように。

* いじめや家庭崩壊、心ない人々による殺人や傷害事件、今、社会全体に暗い影が立ち込め、多くの家庭が傷つき病んでいます。いつも私たちの家庭を守り導いて下さる神よ、全ての家庭をあなたの愛と平和で満たして下さい。私たちの家庭の中に満ち溢れるキリストの愛と平和が、やがて回りの家庭や地域社会にも広がって、この社会を明るい平和な社会に変えていく力となりますように。

* 天の神さま、世界のあちこちで今も戦争が続いています。そして、僕たち（私たち）と同じような子供たちが、戦争や貧しさのために住む家を失ったり、家族をなくしたりしています。戦争をしている人たちが武器や争う心を捨てて、子供た

ちが笑顔を取りもどす平和な世界が実現しますように。

- * 原爆や戦争の犠牲となって亡くなられた人々、また今もその後遺症に苦しんでいる人々のために祈ります。戦争の犠牲者には永遠の安息を、又戦争の傷跡によって傷ついた人々には生きる希望をお与え下さい。そして、その方々の犠牲を無駄にしないためにも、被爆地長崎に生きる私たち若者が、同じ過ちを絶対に繰り返さない平和な世界の実現のために働く者となることができますように。